



環境報告書

2021

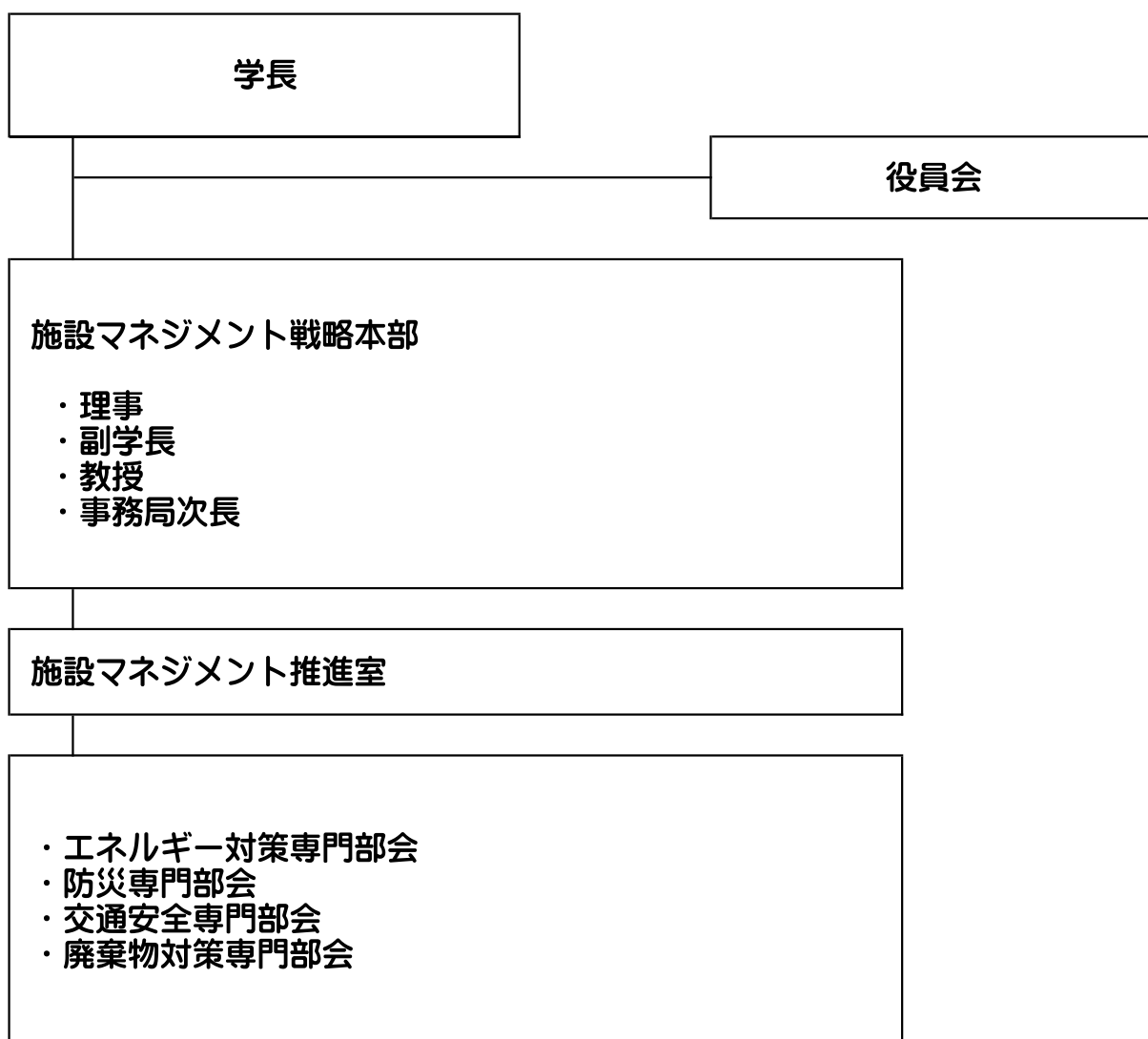
国立大学法人
豊橋技術科学大学

環境報告書2021 目次

環境配慮の目標		1
環境マネジメント体制		1
環境パフォーマンス		2
原油換算エネルギー使用量		
エネルギー使用割合		
電力使用量		
水道使用量		
ガス使用量		
重油使用量		
廃棄物等による環境負荷低減		4

豊橋技術科学大学憲章には環境配慮の目標として、
「自然と人との調和したキャンパスを創るとともに、省エネルギー・省資源化を進めます。」
と明示されています。

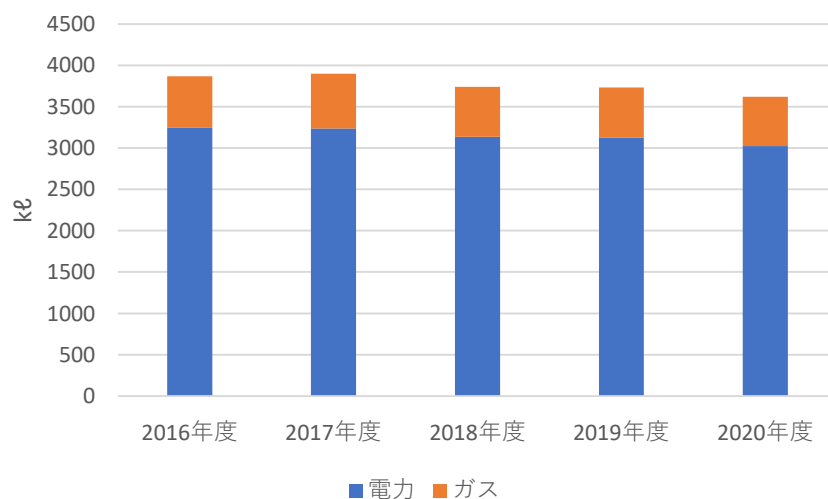
環境マネジメントの体制として、学長以下、以下の組織が整備されています。



原油換算エネルギー使用量

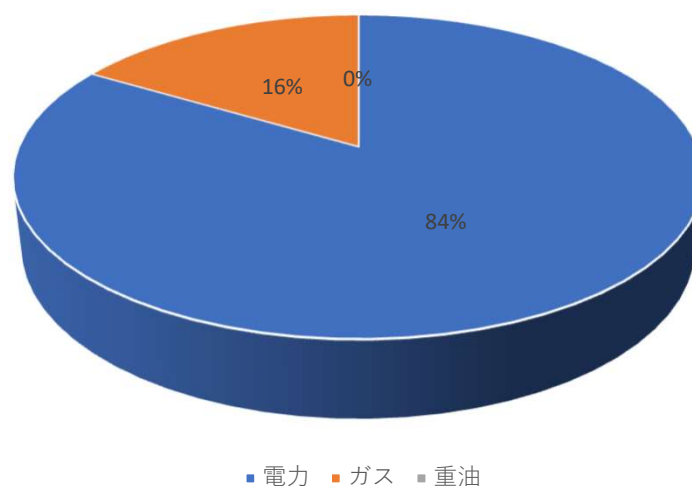
本学で使用している電気、ガス、重油を原油換算したエネルギー使用量の推移を表しています。

2016年度以降、節電努力等により年々減少傾向となりました。



エネルギー使用割合

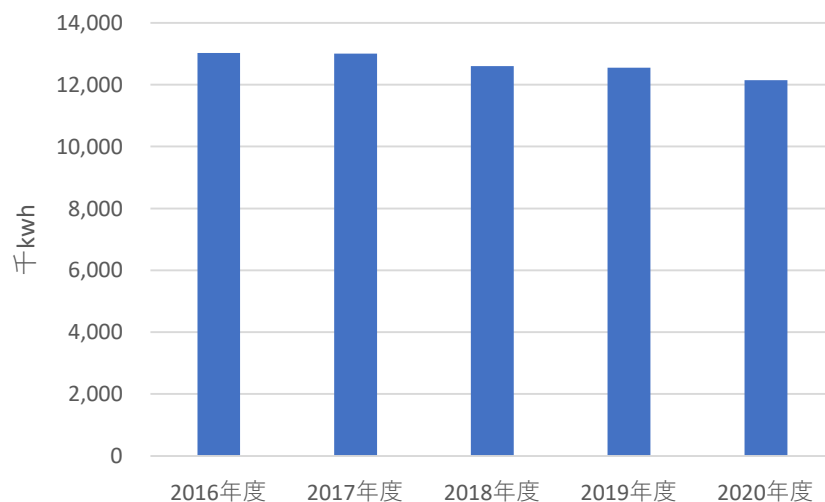
電気、ガス、重油の使用量を原油換算してエネルギー使用量を比較すると、電気の割合が8割以上であることがわかります。



電力使用量

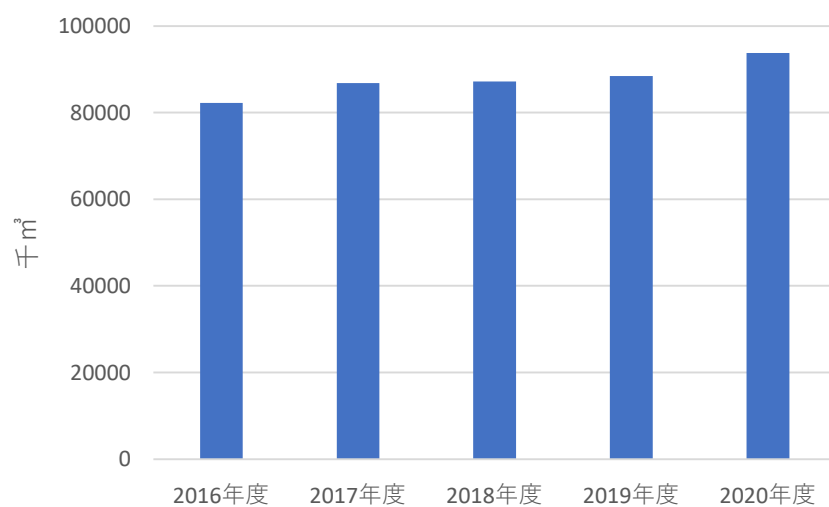
2016年度以降、節電努力等により、電力使用量は年々減少傾向にあります。

2020年度は2019年度に比べて約1割減少しています。



水道使用量

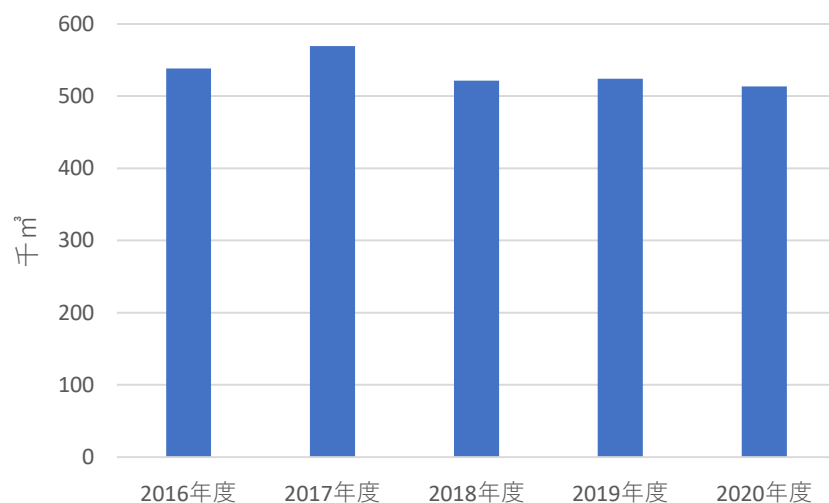
2019年度より、コロナ対策による屋外手洗い場の増設等により使用量が増設しました。



ガス使用量

2017年度より空調機機がガス空調より電気空調へ変更したため、ガスの使用量が減少しました。

電気空調への推移が進み、年々減少傾向です。



重油購入量

2016年度にボイラー設備の撤去が完了しており、重油の購入はありません。



廃棄物処理

本学では、本学で定めた「廃棄物処理の指針」に基づいて、廃棄物を適正に処理を行っています。

この指針により、ゴミの仕分けを行うことで廃棄物が減量し、その結果CO2削減、省エネという低炭素社会に向けた大きな効果が得られています。

石綿(アスベスト)等

本学において、非飛散性アスベストが含まれる建材や実験機器等を処分する際には、関係法令に基づき、適正な処分を行っています。

ポリ塩化ビフェニル（PCB）廃棄物処理の状況

関係法令に基づき、適正な処分を行っています。

本学では、学内に保管していた高濃度PCB廃棄物を令和3年（2021年）2月に処分を完了しました。また、低濃度PCB廃棄物については、令和4年（2022年）2月現在18台保管していますが、令和6年度内の全処分に向けて毎年度計画的に処分を行っています。